

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人 追分あけぼの会

# 社会福祉法人追分あけぼの会

## 1. 令和2年度重点目標に対する評価

### (1) 法人組織体系の強化

今年度は、北海道胆振東部地震により被災した特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築を無事に終了することができ、安平事業所全体が震災前の本来の運営体制に戻ることができました。応急仮設施設から新施設への移転を迎えるにあたり、各事業所の責任者が中心となり情報共有や各自の役割を明確化し、作業を分担することで効率的且つ安全に移転することができ、これまで培ってきた連携及び協力体制を十分に活用することができたと実感しております。次年度は、震災前本来の運営体制で迎える初めての年度となると共に、安平町からの受託事業として安平町高齢者生活共同施設ばっぽ苑及び安平町単身高齢者生活共同施設はーと苑の受託運営、小規模多機能型居宅介護事業所華たばの登録定員数の増加など事業拡大も控えていることから、各事業所間における更なる連携及び協力体制が求められ、法人本部については業務内容及び業務の効率化を図り、各事業所の事務業務の軽減を図るなど法人本部機能の構築に努めて参ります。

### (2) I C T 活用による業務効率化と生産性の向上

今年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築を機に、安平事業所においても I C T を活用した業務の効率化に向けた取り組みに努めて参りました。生活相談員及び統括主任を中心となり、介護記録や業務日誌のデジタル化を進め、見守り支援システムを導入するなど、少しずつではありますが職員の業務負担の軽減を図ることができたと考えております。次年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑のみならず、他の安平事業所においても積極的な I C T の活用を進め介護現場における業務の効率化に努めて参ります。

### (3) 人材の確保及び職員の定着

今年度は、従来の求人掲載やインターネット、人材派遣、人材紹介などを活用すると共に、様々な雇用形態で人材の確保に努めて参りました。また、在籍している職員については、各事業所の責任者や統括主任等が中心となり、職員の面談を行うなど職員の定着に向けた取り組みを実施して参りました。今後も、介護及び保育事業において人材の確保が慢性的な課題となることから、様々な手段を活用し当法人のスケールメリットに関する情報を積極的に発信し、個々の生活スタイルに適した就労環境を提供できることをアピールし、人材の確保及び在籍する職員の定着に努めて参ります。

### (4) 地域との関係性の構築及び地域貢献

今年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築を無事に終了することができ、同じ町内ではありますが新たな地域での運営を開始することができました。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、町内の小中高生の実習の受け入れが困難な状況でありましたが、認知症サポーター養成講座の講師として各学校に赴くなど、コロナ禍においても可能な範囲で地域へ貢献する取り組みを行うことができました。次年度は、終息の見えない新型コロナウイルス感染症に対する対応策を徹底しながら、地域住民との関係性及び地域福祉の拠点としての役割と地域貢献に努めて参ります。

## **2. 理事会の開催状況**

- (1) 第1回理事会（令和2年 6月10日 開催）
- (2) 第2回理事会（令和2年 9月29日 開催）
- (3) 第3回理事会（令和2年10月21日 開催）
- (4) 第4回理事会（令和2年12月21日 開催）
- (5) 第5回理事会（令和3年 2月19日 開催）
- (6) 第6回理事会（令和3年 3月12日 開催）
- (7) 第7回理事会（令和2年 3月30日 開催）

## **3. 評議員会の開催状況**

- (1) 第1回（定時）評議員会（令和2年 6月25日 開催）
- (2) 第2回（隨時）評議員会（令和3年 1月27日 開催）
- (3) 第3回（隨時）評議員会（令和3年 3月 5日 開催）
- (4) 第4回（隨時）評議員会（令和3年 3月26日 開催）

## **4. 監事による法人内部監査の実施状況**

- (1) 第1四半期法人内部監査（令和2年 6月 3日 実施）
- (2) 第2四半期法人内部監査（令和2年 9月17日 実施）
- (3) 第3四半期法人内部監査（令和2年12月 1日 実施）
- (4) 第4四半期法人内部監査（令和3年 3月29日 実施）